

平成27年 3月25日
九州地方整備局

女性・若手技術者を登用する試行業務の実施

～女性・若手技術者登用促進・育成による産業競争力強化を目指して～

九州地方整備局では、平成26年度より試行工事にて行ってきた女性・若手技術者の登用促進かつ育成する取り組みを、平成27年度にはコンサルタント業務において実施することを決定しましたので、お知らせします。

【試行目的】

九州地方に働く女性及び若手技術者の登用促進・育成による魅力的な職場環境の創出を促し担い手の中長期的な育成・確保を図ると共に技術力向上による成果品の品質確保を図る。

【試行概要】

【女性技術者配置型】

担当技術者として女性技術者の配置を1名以上配置した場合にのみ入札参加（指名）資格を与えるものとする。
業務実績には管理技術者、担当技術者のほか業務従事者（事務員・CADオペレータを除く）を加える。

【女性技術者評価型】

管理技術者に女性技術者を配置した場合、入札手続きの評価段階において加点評価する。

【若手技術者配置型】

管理技術者かつ担当技術者に若手技術者を配置できる者のみに入札参加（指名）資格を与えるものとする。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331

九州地方整備局 企画部 技術開発調整官

アダチ タツオ 足立 辰夫（内線3120）

技術管理課 課長補佐

ムラタ カズヒサ 村田 和久（内線3314）

九州地方整備局

女性・若手技術者を登用する試行業務の実施

九州地方に働く女性及び若手技術者の登用促進・育成による魅力的な職場環境の創出を促し担い手の中長期的な育成・確保を図ると共に技術力向上による成果品の品質確保を図ることを目的とする。

1. 試行一覧表

試行項目	試行概要	対象件数	契約方式
I. 女性技術者配置型	担当技術者に女性技術者を配置することを参加資格要件とする。	1割程度	総合評価
II. 女性技術者評価型	管理技術者に女性技術者を配置した場合に加点評価とする。	1割程度	総合評価
III. 若手技術者配置型	管理技術者かつ担当技術者に若手技術者を配置することを参加要件とする。	1割程度	総合評価

2. 試行対象業務

I. 女性技術者配置型

【河川事業】

「河川構造物 詳細設計(樋門・樋管・排水機場等)」「河川水辺の国勢調査」「築堤・護岸設計」

【道路事業】

「構造物詳細・補修設計(一般)」「定期点検、緊急点検」「防災対策設計(詳細設計のみ)」

【測量調査】

「航空レーザ測量」「空中写真測量」及び左記に関連する業務

【地質調査】

「ボーリング調査(設計、解析用)」

II. 女性技術者評価型

【河川事業】

「河川構造物 詳細設計(樋門・樋管・排水機場等)」「河川水辺の国勢調査」「築堤・護岸設計」

【道路事業】

「防災対策設計(詳細設計のみ)」

【地質調査】

「ボーリング調査(設計、解析用)」

III. 若手技術者配置型

総合評価落札方式の対象業務全て

※試行業務選定については、女性技術者が比較的に多くの実績を有する業務において、業務経験が蓄積でき、更なる技術力向上による業務の品質確保が可能と判断される。

女性技術者活用について

入札契約制度

女性技術者登用促進・育成による産業競争力強化を目指して

【試行内容】

1. 女性技術者の登用【女性技術者配置型】

担当技術者に女性技術者の配置を参加資格要件とする業務を実施し、女性技術者の登用促進による担い手育成・確保を促す。

[契約手続き]

- 担当技術者として女性技術者の配置を1名以上配置した場合にのみ入札参加（指名）資格を与える。
ただし、担当技術者として女性技術者を配置する者の参加がなかった場合、男性技術者を配置できる者に入札参加（指名）資格を与える。
- 業務実績には、通常要件設定としている管理技術者及び担当技術者のほか業務従事者（事務員・CADオペレータを除く）を加える。
- 女性担当技術者の業務成績における評価項目の削除。
- ヒアリングを要する場合、女性技術者を同席可能とし、担当業務におけるヒアリングを実施する。ただし、評価の対象としない。
- 継続教育（CPD）を評価項目として必須とする。
- 女性技術者の試行業務を受注した場合、その業務の履行期間中は別件女性試行業務への参加を認めない。ただし、特定又は落札決定された時点で、既に競争参加資格通知又は選定通知を受けている場合は、この限りではない。
- 技術提案には業務内容におけるテーマに加えて、別途「女性技術者の働きやすい職場環境（家庭・子育て支援など）の現状」を設定する。

[その他]

- 業務打合せ時には、やむを得ない場合を除き女性技術者の担当する業務打合せには同席を必須とする。（旅費は、別途計上する）
- 対象業務は、総合評価方式とする。

2. 女性技術者の登用【女性技術者評価型】

管理技術者に、女性技術者の配置を評価項目とする業務を実施し、女性技術者の登用促進による担い手育成・確保を促す。

[契約手続き]

- 管理技術者として男女問わず配置できる者に入札参加（指名）資格を与える。
- 管理技術者に“女性技術者”を配置した場合、入札手続きの評価段階において加点評価する。（年齢制限は設けない）
- 継続教育（CPD）を評価項目として必須とする。
- 女性技術者の試行業務を受注した場合、その業務の履行期間中は別件女性試行業務への参加を認めない。ただし、特定又は落札決定された時点で、既に競争参加資格通知又は選定通知を受けている場合は、この限りではない。
- 技術提案には業務内容におけるテーマに加えて、別途「女性技術者の働きやすい職場環境（家庭・子育て支援など）の現状」を設定する。

[その他]

- 対象業務は、総合評価落札方式とする。

若手技術者活用について

入札契約制度

建設産業の担い手の確保及び育成していくことで魅力ある建設業界の形成を目指して

【試行内容】

3.若年技術者の登用【若手技術者配置型】

管理技術者及び担当技術者に若手担当技術者の配置を参加資格要件とする業務を実施し、若手技術者の技術力向上による担い手育成・確保を促す。

[契約手続き]

- 管理技術者かつ担当技術者に若手技術者を配置できる者のみに入札参加（指名）資格を与える。なお、担当技術者は全数のうち1名以上の配置とする。
ただし、管理技術者かつ担当技術者として若手技術者を配置する者の参加がなかった場合、若手技術者以外を配置できる者に入札参加（指名）資格を与える。
- 本試行の「若手技術者」とは管理技術者は“40歳未満”、担当技術者は“30歳未満”とする。
- 担当技術者の業務成績における評価項目の削除。
- ヒアリングを要する場合、若手担当技術者を同席可能とし、担当業務におけるヒアリングを実施する。但し、評価の対象としない。
- 継続教育（CPD）を評価項目として必須とする。
- 若手技術者の試行業務を受注した場合、その業務の履行期間中は別件若手試行業務への参加を認めない。ただし、特定又は落札決定された時点で、既に競争参加資格通知又は選定通知を受けている場合は、この限りではない。
- 技術提案には業務内容におけるテーマに加えて、別途「技術力向上及び働きやすい職場環境の現状」を設定する。

[その他]

- 業務打合せ時には、やむを得ない場合を除き若手技術者の担当する業務打合せには同席を必須とする。（旅費は、別途計上する）
- 対象業務は、総合評価方式とする。

I. 女性技術者配置型について

業務実績を有さない女性技術者に更なる技術力向上が期待されるとともに魅力的な職場環境の確立を促進することによりコンサルタント業務における競争力強化を図る。

要件		参加資格	選定要件	技術評価	補足・留意事項	
基本要件	予決令及び会計令	◎	—	—		
	競争参加資格	◎	—	—		
	指名停止	◎	—	—		
	入札参加者間の関係	◎	—	—	入札参加者間で資本・人事面での関係が無いこと	
	暴力団排除	◎	—	—		
女性担当技術者の配置		◎	—	—	女性技術者の参加が無かった場合は、男性技術者に移行。	
企業	登録状況	土木建設コンサル	—	◎	—	建設コンサルタント登録の有無等
		地質調査	—	◎	—	地質調査業者登録の有無等
		測量	◎	—	—	測量業者登録の有無等
	業務実績	◎	◎	—		
	当該地正常駐技術者数	—	○	—		
	地域貢献度	—	○	—	災害協定等に基づく活動実績	
	自己資本比率	—	○	—		
	瑕疵担保力	—	○	—		
	法令の遵守状況	—	○	—		
	業務成績	—	◎	—		
	表彰の有無	—	◎	—		
	事故及び不誠実な行為	—	◎	◎		
	業務拠点（企業の所在地）	○	—	—	効率的かつ十分な成果が得られるとともに、競争性が確認できる場合を基本の条件として、設定することができる	
	中立・公平性	○	—	—	他業務や他工事に影響のある情報を扱う業務について、設定することができる	
地域での活動経験	—	○	—			
その他	—	○	—			
管理技術者	技術者資格	◎	◎	◎		
	業務実績	◎	◎	◎		
	地域精通度	—	○	○	地域精通度により成果の品質向上が期待できる場合に設定する	
	業務成績	—	◎	◎		
	表彰の有無	—	◎	◎		
	当該部門従事期間	—	○	○		
	手持ち業務量	◎	◎	○		
	CPDの取得状況	—	—	○		
その他	—	—	○			
担当技術者	技術者資格	—	—	◎		
	業務実績	—	—	◎	管理・担当技術者及び業務従事者も含む。	
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	—	—	業務成績評価は、行わない。	
	表彰の有無	—	—	◎		
	当該部門従事期間	—	—	○		
	手持ち業務量	—	—	○		
	CPDの取得状況	—	—	◎		
その他	—	—	○			
照査技術者	技術者資格	—	○	○		
	業務実績	—	○	○		
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	○	○		
	表彰の有無	—	—	○		
	当該部門従事期間	—	—	○		
	CPDの取得状況	—	—	○		
	その他	—	—	○		
実施体制（再委託等）	◎	◎	—			
実施方針	—	—	◎	ヒアリング結果を反映させる。		
評価テーマに対する提案	—	—	◎(※)	業務内容におけるテーマに加えて、別途「女性技術者の働きやすい職場環境（家庭・子育て支援など）の現状」を設定する。		

「◎」：原則設定 「○」：必要に応じて設定 「—」：原則設定しない

II. 女性技術者評価型について

業務実績を有さない女性技術者に更なる技術力向上が期待されるとともに魅力的な職場環境の確立を促進することによりコンサルタント業務における競争力強化を図る。

要件		参加資格	選定要件	技術評価	補足・留意事項	
基本要件	予決令及び会計令	◎	—	—		
	競争参加資格	◎	—	—		
	指名停止	◎	—	—		
	入札参加者間の関係	◎	—	—	入札参加者間で資本・人事面での関係が無いこと	
	暴力団排除	◎	—	—		
企業	登録状況	土木建設コンサル	—	◎	—	建設コンサルタント登録の有無等
		地質調査	—	◎	—	地質調査業者登録の有無等
		測量	◎	—	—	測量業者登録の有無等
	業務実績	◎	◎	—		
	当該地整常駐技術者数	—	○	—		
	地域貢献度	—	○	—	災害協定等に基づく活動実績	
	自己資本比率	—	○	—		
	瑕疵担保力	—	○	—		
	法令の遵守状況	—	○	—		
	業務成績	—	◎	—		
	表彰の有無	—	◎	—		
	事故及び不誠実な行為	—	◎	◎		
	業務拠点(企業の所在地)	○	—	—	効率的かつ十分な成果が得られるとともに、競争性が確認できる場合を基本の条件として、設定することができる	
	中立・公平性	○	—	—	他業務や他工事に影響のある情報を扱う業務について、設定することができる	
地域での活動経験	—	○	—			
その他	—	○	—			
管理技術者	技術者資格	◎	◎	◎		
	業務実績	◎	◎	◎	女性技術者の業務実績が男性技術者を上回っている同種・類似業務を設定し、加点評価を行う。	
	地域精通度	—	○	○	地域精通度により成果の品質向上が期待できる場合に設定する	
	業務成績	—	◎	◎		
	表彰の有無	—	◎	◎		
	当該部門従事期間	—	○	○		
	手持ち業務量	◎	◎	○		
担当技術者	CPDの取得状況	—	—	○		
	その他	—	—	○		
	技術者資格	—	—	○	担当技術者は、必要に応じて評価項目として設定する。(標準的には設定しない) なお、設定した際の担当技術者の提案は1名を基本とするが、業務を短期間で遂行する場合など業務実施の迅速性(組織力)を強く求める場合は、3名までの提案による「加算値」での評価を行う。	
	業務実績	—	—	○		
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	—	○		
	表彰の有無	—	—	○		
	当該部門従事期間	—	—	○		
手持ち業務量	—	—	○			
CPDの取得状況	—	—	○			
その他	—	—	○			
照査技術者	技術者資格	—	○	○	照査技術者については、照査技術者の配置を義務づける業務を対象に評価項目として設定する。	
	業務実績	—	○	○		
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	○	○		
	表彰の有無	—	—	○		
	当該部門従事期間	—	—	○		
	CPDの取得状況	—	—	○		
その他	—	—	○			
実施体制(再委託等)	◎	◎	—			
実施方針	—	—	◎	ヒアリング結果を反映させる。		
評価テーマに対する提案	—	—	◎(※)	業務内容におけるテーマに加えて、別途「女性技術者の働きやすい職場環境(家庭・子育て支援など)の現状」を設定する。		

「◎」:原則設定 「○」:必要に応じて設定 「—」:原則設定しない

Ⅲ. 若手技術者配置型について

業務実績を有さない女性技術者に更なる技術力向上を期待されるとともに魅力的な職場環境の確立を促進することによりコンサルタント業務における競争力強化を図る。

要件		参加資格	選定要件	技術評価	補足・留意事項	
基本要件	予決令及び会計令	◎	—	—		
	競争参加資格	◎	—	—		
	指名停止	◎	—	—		
	入札参加者間の関係	◎	—	—	入札参加者間で資本・人事面での関係が無いこと	
	暴力団排除	◎	—	—		
	若手技術者の配置(管理・担当)	◎	—	—	若手技術者の参加が無かった場合は、通常手続きに移行。	
企業	登録状況	土木建設コンサル	—	◎	—	建設コンサルタント登録の有無等
		地質調査	—	◎	—	地質調査業者登録の有無等
		測量	◎	—	—	測量業者登録の有無等
	業務実績	◎	◎	—		
	当該地正常駐技術者数	—	○	—		
	地域貢献度	—	○	—	災害協定等に基づく活動実績	
	自己資本比率	—	○	—		
	瑕疵担保力	—	○	—		
	法令の遵守状況	—	○	—		
	業務成績	—	◎	—		
	表彰の有無	—	◎	—		
	事故及び不誠実な行為	—	◎	◎		
	業務拠点(企業の所在地)	○	—	—	効率的かつ十分な成果が得られるとともに、競争性が確認できる場合を基本の条件として、設定することができる	
	中立・公平性	○	—	—	他業務や他工事に影響のある情報を扱う業務について、設定することができる	
地域での活動経験	—	○	—			
その他	—	○	—			
管理技術者	技術者資格	◎	◎	◎		
	業務実績	◎	◎	◎		
	地域精通度	—	○	○	地域精通度により成果の品質向上が期待できる場合に設定する	
	業務成績	—	◎	◎		
	表彰の有無	—	◎	◎		
	当該部門従事期間	—	○	○		
	手持ち業務量	◎	◎	◎		
	CPDの取得状況	—	—	○		
その他	—	—	○			
担当技術者	技術者資格	—	—	◎		
	業務実績	—	—	◎	管理・担当技術者及び業務従事者も含む。	
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	—	—	業務成績評価は、行わない。	
	表彰の有無	—	—	◎		
	当該部門従事期間	—	—	○		
	手持ち業務量	—	—	○		
	CPDの取得状況	—	—	◎		
その他	—	—	○			
照査技術者	技術者資格	—	○	○		
	業務実績	—	○	○		
	地域精通度	—	—	○		
	業務成績	—	○	○	照査技術者については、照査技術者の配置を義務づける業務を対象に評価項目として設定する。	
	表彰の有無	—	—	○		
	当該部門従事期間	—	—	○		
	CPDの取得状況	—	—	○		
その他	—	—	○			
実施体制(再委託等)	◎	◎	—			
実施方針	—	—	◎	ヒアリング結果を反映させる。		
評価テーマに対する提案	—	—	◎(※)	業務内容におけるテーマに加えて、別途「技術力向上及び働きやすい職場環境の現状」を設定する。		

「◎」:原則設定 「○」:必要に応じて設定 「—」:原則設定しない